

すこやか

VOL.79

医療法人 藤田病院

岡山市東区西大寺上三丁目8-63

TEL (086) 943-6555 (代)

2023年(令和5)5月発行



東京都 小笠原国立公園(母島より向島を望む)

ご挨拶



藤田病院 医師 藤田琢也

晴天の日は柔らかく暖かい日差しが感じられ、少しずつ春めいてきましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。気温が高くなってくるとマスクの着用は暑苦しく感じられてきます。花粉症予防のためなら風が強い日の外出にはマスク着用は必須ですが、新型コロナウイルス感染症対策としてのマスク着用で「万一自分がウィルスに感染していても他人へ感染させないように口・鼻を覆う」ことも大きな目的と考えるなら、人気がないところでは適宜マスクを外して爽快感を得てもよいかもしれません。

さて、4月8日は花祭り。キリストの誕生日・クリスマスに比べると知らない人が増えている観がありますが、花祭りはお釈迦様の誕生日のお祝いです。お釈迦様の有名な言葉に「天上天下唯我独尊(てんじょうてんげ(あるいは、てんが)ゆいがどくそん)」というのがあります。井戸端会議では、誰にでも偉そうに接する人を揶揄する時に使われますが、仏教では「地球上を含めた宇宙全体で、私たち人間だけが特別な存在である」というような意味と解釈されています。「馬耳東風」に対して、人間だけが仏の言葉を聞いて、理解して、教えることができるから、特別なのです。

これに続く言葉が「三界皆苦吾当安此(さんがいかいこうとあんし)」です。欲望を満たすために生きる「欲界」、芸術の道を究めるために生きる「色界」、哲学などを思索するために生きる「無色界」の三界のどの生き方にも苦があります。だから「吾(お釈迦様)はどんな生き方をしている人でも安(幸せ)に導こう」という意味です。

私たちを幸せに導こうとしてくれるのはお釈迦様に限りません。お医者さんや介護してくれる人の言葉を聞いて、理解して、教える守ることで、幸せに至る道を探してみても、いかがでしょうか。

看護師配置増

公休増・有給前倒し

コメディカル充実

藤田病院の働き方改革



藤田病院の働き方改革への取り組みをご紹介します。当院での働き方改革は「ただ楽をする」ではなく、患者さんはより手厚い医療が受けられ、職員はよりよい労働環境が得られ、病院は経営的安定が得られることを理想としています。やりがいや仕事の質を高めながら業務の効率を上げることを目標としており、患者さんに資するための改革です。

今回は労働環境面を中心に3つの施策についてご説明します。

1 看護師配置増

高度化し、高齢化がますます進む医療現場において看護師配置数は非常に重要です。これまでは1人の看護師が13人以下の患者さんをケアする13対1の看護体制でしたが、昨年10月から1人の看護師が10人以下の患者さんをケアする10対1看護体制に配置変更を行いました。55床の3階病棟の場合、夜勤も含めた1日あたり4人の増員です。看護師配置数を増やせたことで、人員が手薄な夜勤帯に4人の看護師を配置できるようになりました。

2 公休増・有給休暇の前倒し付与

職員の年間休日を105日から110日に増やしました。さらに有給休暇を法定より4か月前倒して入職2か月で付与しています。医療安全は医療ス

タッフの健康が第一の基盤と考えます。休息をしっかりと取り、家族や友人との時間を持つことで心身ともに充実した状態で仕事に臨めます。

3 コメディカルの充実

病院で働く職種といえば医師や看護師を思い浮かべる方は多いと思います。では臨床工学技士、看護補助者、医師事務作業補助といった職種をご存じでしょうか。臨床工学技士は医療機器の管理や調整、看護補助者は看護師とともに患者さんの移動や入浴の介助など、医師事務作業補助者はカルテ入力や書類作成など医師の事務作業を担う職種です。以前はこれらの業務を医師や看護師が行っていましたが、患者さんと対面して診察、看護する時間を増やすために、現在はコメディカルが行っているものが増えています。

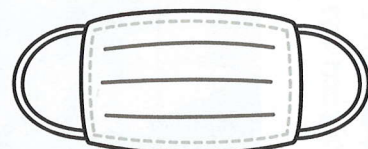
この3施策以外にも、休憩時間の取得、特別休暇の拡充、保育園サポート、男性育休取得の推進など、多くの取り組みを並行して実施しています。これからも患者さんから選ばれ、医療スタッフからも選ばれる病院であるよう継続した改善に取り組んでまいります。

マスク着用のお願い

藤田病院では当院を利用される方すべてに、当面の間マスク着用をお願いいたします。令和5年3月13日以降のマスク着用については国民各々の判断に任せることとなりましたが、厚生労働省通知の中でも医療機関へ訪問する時はマスク着用を推奨するとされています。

新型コロナウイルス感染症が感染症法において、季節性インフルエンザ並みの5類に変更されたからといってウイルスの感染力や毒性が弱くなるわけではありません。当院には高齢者など重症化リスクの高い方が多数利用されています。また、院内クラスターが発生しますと、通常の医療提供が行えなくなる場合もございます。引き続き院内ではマスク着用をお願いいたします。

マスク着用



ご協力をお願いします。